

本日の
プログラム

多くの方に知ってほしい、
私達のロータリー財団

会員増強を考える

地区ロータリー財団委員会副委員長 出村知佳子氏

藤原直樹 会員増強委員長

スポーツが実現する豊かな社会

嶋中 康晴 会員

私は1979年に苫小牧市で生まれ、現在は妻・長男・長女と札幌市に住んでいます。

今日のテーマである「スポーツが実現する豊かな社会」の話に入る前に、私が所属する2つの会社を紹介させていただきます。

まずは、私が20年間勤めているリーフラス株式会社です。弊社はスポーツ企業です、「日本のスポーツを変え、デザインする」という企業理念を掲げ、日本のスポーツの課題を解決し、その力によって社会を豊かにすることを目的としています。

そしてもう一つ、リーフラス株式会社の子会社である、北海道十勝スカイアーススポーツ株式会社の役員も兼任しています。北海道十勝スカイアースは、十勝という大自然と食に恵まれた地域性を活かした総合スポーツクラブです。スポーツを通じた「共生社会の実現」「経済の活性化」を使命に、Jリーグを目指すサッカークラブや子供向けスポーツ教室を運営しながら地域に喜びと笑顔、感動と勇気を与えることを目的としています。

この二つの会社で、私が人生をかけて実現したいことは、「スポーツの力で社会課題を解決し、未来の豊かな社会へと繋げていく」ことです。今の日本社会には、少子高齢化による人口減少や学校教育現場の過重労働、子どもの体力低下や寝たきり高齢者の介護、膨張し続ける医療費や引きこもり問題など、新型コロナウイルスの猛威が収まってきているとはいえ、様々な課題があります。

弊社はこれらの課題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネスカンパニーです。スポーツの力で地域教育を促進し、学校教育の課題を解決し、障がい者と健常者の橋渡しを行い、健康社会を実現していく。そしてこれらをビジネスの手法で、再現性高く永続的に広げていく。あくまで個人的な想いですが、

これらの活動は社会貢献性が高いと自負しており、これはRCの「奉仕の理念」と合致すると感じています。

今後、私自身がRCで学び、皆さんと繋がることで自社の事業と奉仕活動を活性化させることができると確信しています。

謙虚に、且つ積極的にRCを学び、札幌東RCの皆さんと絆を深めていけるよう精進いたします。

最後になりますが、まだまだ歴史も経験も未熟なスポーツ事業ですので、まだまだ知名度や収益性において大きな課題があります。自治体やパートナー企業との連携を増やし、協賛企業を集め、優秀な人材の獲得と育成に日々奮闘しています。

もしスポーツや教育、健康事業に関心のある方や、支援を希望する方がまわりにいましたら、お気軽にお声がけいただけたらと思います。

スポーツの力で、よりよい豊かな社会を。子ども達の未来に繋いでいけるよう生涯をかけて尽力してまいります。



■本日のロータリーソング
奉仕の理想

2021~2022年度 国際ロータリーのテーマ
「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」
国際ロータリー会長：シエカール・メータ